

# 第8回 作文

## 原稿用紙の使い方

- ① 題名は一行目に、上を二〜三ますくらい空けて書きます。
- ② 名前や学年、組を書くときは、二行目の下のほうに書きます。
- ③ 文章の書き出しや段落の初めは、一ます空けて書きます。
- ④ 文字は一ますに一字ずつ書きます。小さい「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」も一ます使って書きます。
- ⑤ 句点（。） 読点（、） カギ（「」）なども一ますに書きます。

### 〔例1〕

け	の	り	来	で			
ん	た	た	は	す	ぼ		
命	め	い	こ	。	く		ぼ
勉	に	と	ん	だ	は		く
強	は	思	虫	か	、		の
し	い	い	は	ら	虫	木	ゆ
て	っ	ま	か	、	が	村	め
、	し	す	せ	し	大	健	
ま	よ	。	に	よ	す	太	
ず	う	そ	な	う	き		

### 〔例2〕

っ	放	「	立	に	ぼ	と	で
て	か	よ	っ	こ	く	先	き
練	後	し	た	た	ら	生	る
習	に	、	。	え	は	は	ま
し	音	今		よ	そ	お	で
よ	楽	日		う	の	っ	が
う	室	か		と	は	し	ん
」	に	ら		ふ	げ	ゃ	ば
	集	毎		る	ま	っ	ろ
	ま	日、		い	し	た。	う。」

- ⑥ 行の最初のますに句点や読点、閉じるカギ（」）が来るときは、前の行の最後のますに文字といっしょに書くか、前の行の最後のますの外に書きます。
- ⑦ 会話文は、行を変えてカギで囲みます。

1 次の文章を、原稿用紙の正しい使い方にしたがって、下の原稿用紙に書きましょう。

ぼくは、日曜日に、お母さんと弟といっしょに、動物園に行きました。トラを見たあと、ゴリラを見ました。弟が、  
 「あのゴリラ、お父さんになっているね。」  
 と言ったので、ぼくとお母さんは、わらいました。  
 ゴリラを見たあと、ベンチにすわって、お母さんの作ったおべんとうを食べました。


1 自分の好きな季節きせつについての作文を、次の注意にしたがって書きましょう。

(注意)

- (1) 原稿用紙げんこうしの正しい使い方にしたがって、三百字以内いないで書くこと。
- (2) 題名は「わたしの好きな季節」とし、一行目に書き、自分の名前を二行目に書くこと。

(書き方)

- (1) 春・夏・秋・冬のうちから、自分の好きな季節を一つ選えらびます。
- (2) 自分がなぜその季節が好きなのかという理由れいゆも書きます。

理由の例

- ・寒いのがにがてだから・暑いほうが好きだから・すずしいのが好きだから など
- ・大好きな花がさくから・スキーができるから・プールに行けるから など

なるべくたくさん理由を集め、その中から一つか二つ選んで、作文の中に書きます。
